えさか通信 2022年12月号
送付のご案内

凸凹特性は誰にでもあるものですが、働けなくなる人の多くは、凹が大きいことで苦しんでいるような気がします。本人も無意識に自覚してるからか「隠さないと社会で生きていけない!!」と思って無理してデキる自分を装うんですよね。

ただその幼さも、本当に幼いというより、何か誤解してたり、些細なことで引っかかって次に進めていなかったりすることが原因だったりするんです。

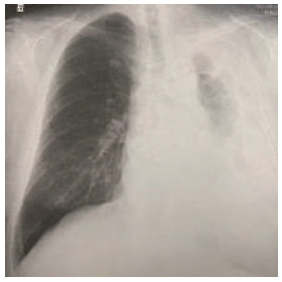
えさかの訓練では、自分が何歳の頃から止まっているのか振り返り、誤解やつまずきを見つけて解消していきます。そうやって止まっていた凹年齢を成長させていき、隠すことも取り繕うこともなく人と関われる自分づくりをすることで、どこでも誰とでも働ける自分になれたら良いなと思っています。

宮崎 未来

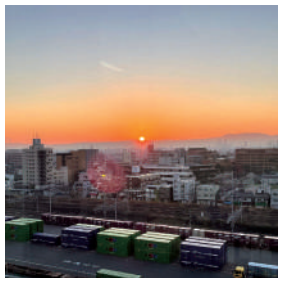
by 管理者 高木 学

高木家の日常

6 人家族（妻 1 人、子ども 4 人）
長男愛知県在住、長女大 3、次男大 1、次女高 2
全員 O 型　自由人な「高木家の日常」をお送りします。



11月11日（入院3日目の左肺）
水が溜まって真っ白になっている
水を抜く処置ができるのは
水曜日に入院して翌週の月曜日
退院後の歩行を意識して
筋トレと歩行訓練のリハビリをする
ワーファリンの効きを調整するのに
前後で10日もかかってしまう



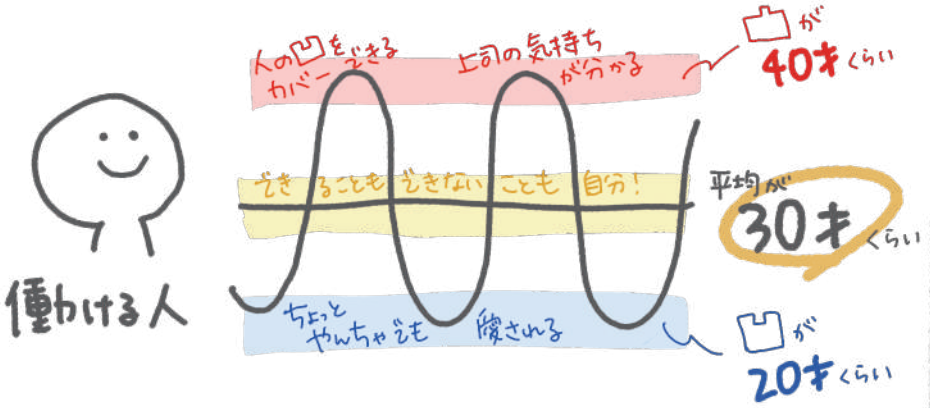
病室は4人部屋で
3-4日で退院していく人が多い
一週間もしないうちに最古参になった
窓際のベッドが空いたので移動すると
毎日朝日が見えるようになった
日の出を見ながらコーヒーを飲んで
1日のことや退院後のことを
考える時間が取れて良かったと思う

退院日の夕食
妻から何を食べたいか聞かれて
「カレーかおでん　牛すじ入り」と伝えた
高木家のカレーは鍋が3つ必要
カレーを食べられない長女はシチューで
私は辛口でスパイシーなカレーを作る
妻と他の子どもたちは甘口なので
こんな感じになる（笑）

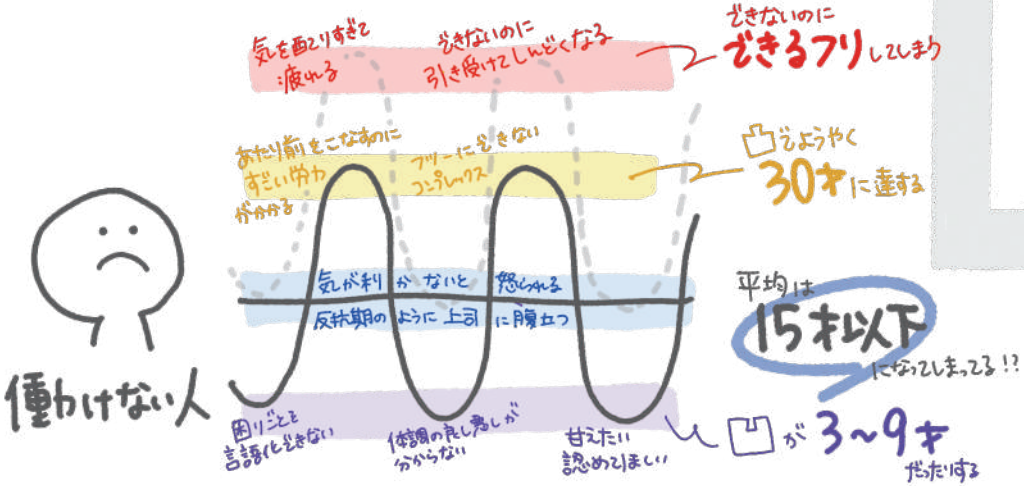
あなたの生きづらさ…

凸凹年齢のズレが原因!?

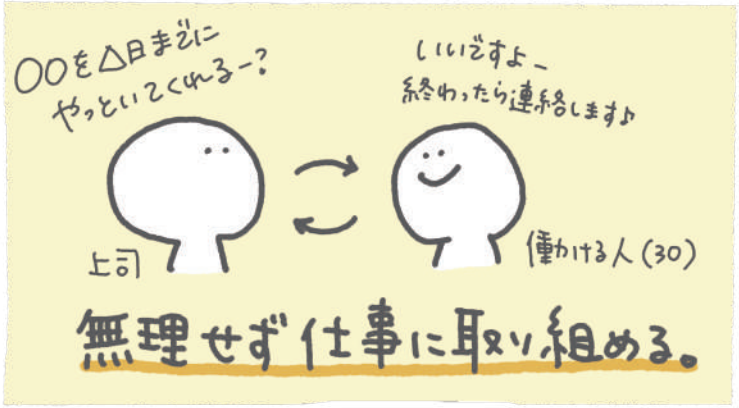
えさか通信 12月号

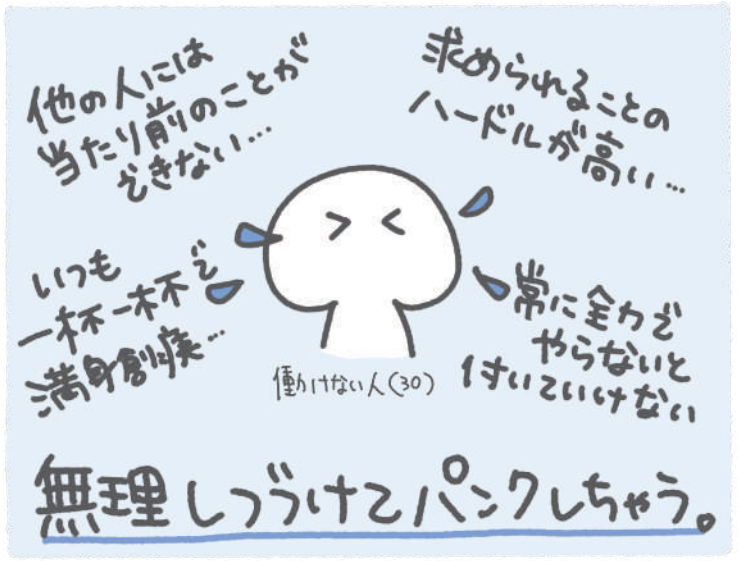


同じ30才でも…



社会では実年齢扱いされるので…





自立訓練(生活訓練)事業所
事業所指定番号：2711601688
自立センターえさか
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-37江坂ビジネスゾーン201
Tel 06-6190-5413 Fax 06-6190-5412 Web https://esaka-esc.jp/